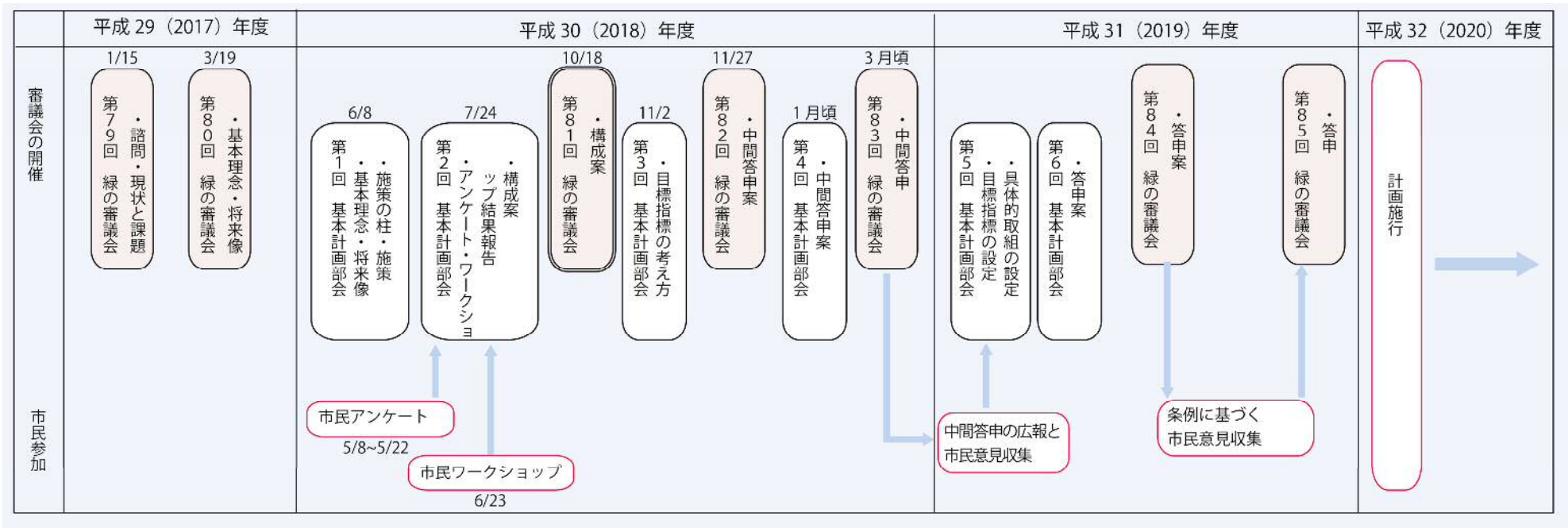


## ■第4次札幌市みどりの基本計画策定の進め方



## ■目 次

- 第4次札幌市みどりの基本計画策定の進め方 ..... P1
- 市民アンケート調査結果(抜粋) ..... P2
- 市民ワークショップ開催結果(抜粋) ..... P3
- 第4次札幌市みどりの基本計画の構成案 ..... P4

### 【本日の主な議題】

- ・重視すべき視点について  
(第2章 札幌のみどりを取り巻く現状と重視すべき視点) ..... P8
- ・みどりの将来像について (第4章 みどりの将来像) ..... P9

# 市民アンケート調査結果（抜粋）

## 【開催概要】

＜＜ 調査対象と調査方法 ＞＞

■調査対象：札幌市民のうち、18歳以上の**3,000人**

■抽出方法：居住区、性別、年齢の3要素のバランスをとって無作為抽出

■配布・回収方法：郵送

■実施期間：平成30年5月8日（発送）～平成30年5月22日（締切）

■設問内容

問1 回答者の属性

問2 札幌のみどりについて

- ・札幌市みどりの基本計画の認知度
- ・札幌のみどりの風景について
- ・札幌のみどりに関する取組の不足や希望

＜＜ 回収率 ＞＞

■配布数：3,000人

■回収数：962人

■回収率：32.1%

問3 公園について

問4 自然歩道について

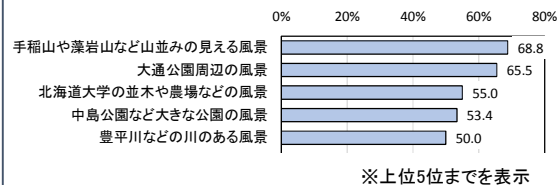
問5 都心のみどりについて

問6 街路樹について

問7 ボランティアについて

## 問2 札幌のみどりについて

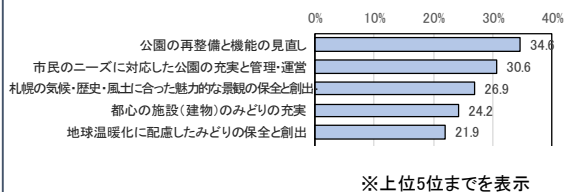
### 思い描く札幌の風景（複数回答可）



約7割の方が「山並みの見える風景」を札幌の原風景と感じている

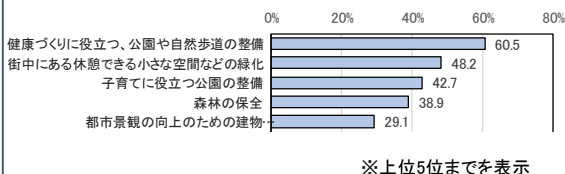
※居住区別では居住区内もしくは近隣の身近なみどりを原風景として思い描く傾向が見られた

### 札幌のみどりの現状で不足していること（複数回答可）



「公園」に対する、整備や管理・運営が不足していると感じている人が多い

### 優先して取り組んでほしいこと（複数回答可）



健康、休息、子育てに役立つなど、日々の身近な暮らしと密接にかかわりのあるみどりづくりが求められている

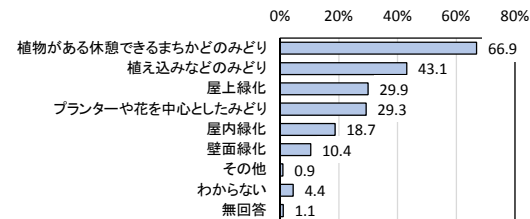
## 問5 都心のみどりについて

◇公共施設の緑化について「足りていない」割合が約47%と多い

◇民間施設の緑化について「足りていない」割合が約53%と多い

◇緑化を望む施設は「札幌駅前広場」が約60%と最も多く、次いで「医療施設」「商業施設」「文化施設」を選択

都心の施設にあると良いみどり（複数回答可）

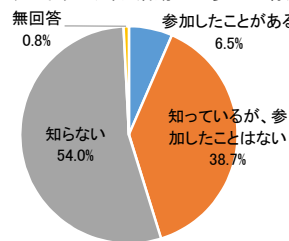


都心部のみどりは公共施設、民間施設、総じて「足りていない」が「足りている」を上回っており、特に、民間施設での緑化が足りていないと感じている

都心部には、目に見えるみどりよりも、「休息できる」といった、利用できるみどりのスペースを求めているみどりを求める場所は、普段利用する機会の多い施設が多い

## 問7 みどりのボランティアについて

### みどりのボランティア活動への参加の有無



現在、みどりのボランティアに参加したことのある人は6.5%と非常に少ない状況

その理由の一つとしては、活動自体を知らないことが挙げられる

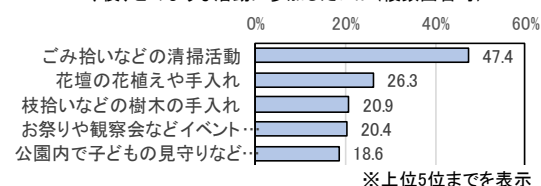
◇年代が低くなるにつれて活動そのものを知らない割合が高く10代では9割以上が知らないと回答

◇何があれば参加したいかは、「活動場所や時間の自由度」「情報が手に入る」が多い

◇参加したい場所は「身近な公園」が約60%と突出して多い

◇ボランティア活動に参加する際に期待することは、「公園や森林、札幌の街並みをきれいにする」が約50%と多く、続いて「花やみどりに囲まれて癒される」「健康になれる」が多い。

今後、どのような活動に参加したいか（複数回答可）



参加者を増やしていくための方向性としては、活動場所・時間の自由度や身近な場所でできるなどの気軽さに加え、手軽に情報を得られるようにすることなどがあげられた。

活動に期待することは、自分達のまちをきれいにしたり、癒され、健康になれるなど、豊かな暮らしへの期待が多い。

# 市民ワークショップ開催結果（抜粋）

## 【開催概要】

札幌市のみどりに関する市民の評価を聞き、またみどりの将来像について共に考えるため、ワークショップを実施した。

■日 時：平成30年6月23日（土）13：00～16：00

■場 所：TKP札幌ビジネスセンター カンファレンスルーム5B

■参加者：市民 22名（無作為抽出）※年齢、性別、居住区をバランス良く抽出  
審議会委員 2名（愛甲会長、竹澤委員）

## 【議論の内容】

### STEP1

さっぽろの「自然・環境のみどり」「都市・まちのみどり」「みどりを楽しむ人」のテーマごとに、現状について**プラスイメージ**か**マイナスイメージ**が評価してもらい、その理由を何うとともに、それぞれのみどりによって**助かっていること**、**為になっていること**について意見交換を行った。

### STEP2

STEP1の意見を参考に、テーマごとの**将来像**と、それによりどのような**新たな価値**が生まれるかについて意見交換を行った。

## 1. 札幌のみどりの評価

### 【札幌のみどりの評価】

◇総じてプラスイメージ寄りの評価が多かったものの、課題についての意見も出された。

### 【みどりによって助かっていること、為になっていること】

◇環境への効果や健康・心理面への効果の他、観光・教育などに役立っているとの意見が多い。

### 自然・環境のみどり

- ➕ 山並みのみどりにより、札幌らしさを感じる。身近な花やみどりで四季の変化を感じる。美しい景観を形成している。
- ➖ 遊び場や健康づくりの場となっている。まちなかや都心部、民間施設のみどりが少ない。農地や住宅地などのみどりが減少している。みどりの量の地域での偏りがある。

- ✓ 動物の生息地や食物連鎖のベースなど、**生き物や人間の基盤**になっている。
- ✓ 札幌らしい景観や冬の美しい景色を形成している。
- ✓ 二酸化炭素削減、大気の浄化につながる。
- ✓ 目の保養にもなり、虫の声などは癒やされ、健康になる。

### 都市・まちのみどり

- ➕ 都心部は大通公園、JRタワーなどから見える山並みなどのみどり、住宅地は公園や街路樹のみどりが良い。
- ➖ 都心部のみどりが少ない。風格のある街路樹が少ない。

- ✓ 多世代の活動の場、コミュニティ形成の場になる。
- ✓ 自分の気持ちがいっしょになり、人の心が**和む**。
- ✓ 街路樹は**健康・心理面**に効果を発揮し、楽しめる。
- ✓ 観光振興につながる。
- ✓ 教育の場やツールになる。

### みどりを楽しむ人

- ➕ 住宅地の花づくりみどりづくりの取組が良い。
- ➖ みどりを介した人と人のつながりが良い。自然と人の共生の難しさ。みどりを楽しむための機会や情報、教育の仕組みが不十分。

- ✓ みどりを楽しむことは、心を整え、やすらぎとなり、健康になり、人の心を和ませている。
- ✓ 山菜など食の楽しみにつながる。
- ✓ 市民の憩いの場、集いの場になっている。
- ✓ 子どもの気づきにつながり、教育の場になる。

## 2. 札幌のみどりの将来像

※波下線…「札幌のみどりの将来像」に新たに追加／下線…「札幌のみどりの将来像」に既載  
◇みどりが働きかける各対象の将来像について意見が出された。各将来像の関係性について以下のことが考察できる。

### 自然・環境のみどりの将来像

- ①四季の変化や在来種など札幌らしさを生むみどりの保全と活用をすすめる。
- ②子どもから高齢者まで多世代が学べる場にする。
- ③市民の視点、観光客の視点で守り育てる自然・環境のみどり

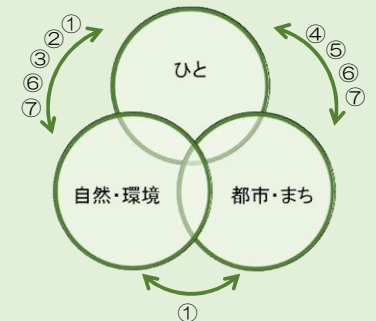
### 都市・まちのみどりの将来像

- ④市民だけでなく、外部の人に自慢できる季節を楽しめるみどりがあるまち
- ⑤身近に触れられ、心を豊かにするみどりがあるまち

### みどりを楽しむ人の将来像

- ⑥みどりをきっかけに、人と人の交流が身近にあるまち
- ⑦札幌のみどりを知り、伝え、守り、引き継ぐまち

テーマごとにまとめられた将来像を見ると、それぞれの対象は単独で成り立つものではなく、3つの対象の将来像が密接に関係することで実現するものであることが見えてきた。



## 3. 大切に考える新たな価値

◇生物多様性のベースや食、心の健康などのみどり、コミュニティ形成を促すみどりや観光資源としてのみどりなど、将来を見据えて大切に思うみどりの価値について意見が出された。

### ●人と自然の共生、生物多様性のベース

- ・食物連鎖のベース
- ・生き物や人間の基盤

### ●心を癒やし、豊かにする

- ・心を豊かにするみどり
- ・癒し、楽しめる
- ・心身ともに健康で豊かに暮らせる
- ・みどりは目の保養、癒やされ、健康になる

### ●観光資源になる

- ・都市・まちのみどりが観光に
- ・札幌らしさを観光にもつなげる

### ●安全・安心なまちを形成する

- ・安全・安心して住むことができる環境になる

### ●コミュニティの形成の場となる

- ・まちなかで身近な交流、コミュニティづくりができる
- ・憩いの場、集いの場
- ・小さな公園を活用することで、地域の人が活用できる場やコミュニティ形成の場となる



## 第4次札幌市みどりの基本計画の構成案

### ■審議会、部会意見のふりかえり

#### ○構成に関する事項

- ・「社会動向を踏まえた今後10年間で取り組む視点」を冒頭で打ち出してもよいのではないか(部会①) → 第2章2「重視すべき視点」として整理
- ・なにができて、何ができていないのか、札幌のみどりの現状を評価する必要がある(部会①) → 第1章3「みどりづくりの経過と評価」として整理

#### ○新たな価値の見出し方について

- ・新たな価値を含めてみどりの総合的な意義をまとめるべき。(第80回) → 札幌の価値を高めるみどりの意義を整理  
市民ワークショップ意見より反映

#### ○基本理念について

- ・「世界が憧れる」は基本理念にあった方がよい(部会①) → 「世界が憧れる」を基本理念に追加
- ・基本理念は、具体的に今日的なスローガンが良いのではないか(部会②) → 第81回審議会、第3回基本計画部会等で検討
- ・重視すべき視点も踏まえた現状とするなら、基本理念やこれからの方向性にも反映する必要がある(部会②)

#### ○将来像について

- ・まちづくり戦略ビジョンとのつながりがわかりにくい。(第80回)
  - ・札幌らしいみどりが重要である(第80回)
  - ・新たな価値を生み出すことより、みどりを大切にすることの方が先ではないか(第80回)
- まちづくり戦略ビジョンから、目指すべき都市像を継承するとともに「重視すべき視点」を導き出している  
市民ワークショップ意見を反映して修正  
今あるみどりを大切にすることを追加

### ■審議会、部会意見を反映した骨子案、構成のポイント

#### 第80回録の審議会で提示した基本理念(素案)と 課題の整理、計画検討の視点、みどりの将来像

##### 【基本理念(素案)】

札幌の魅力であるみどりに新たな価値を生み出し、  
みんなに愛される持続可能なまちを創っていく

実現しようみんなの手で  
人とみどりが輝くさっぽろ

##### ○札幌のみどりの現状と課題

- ・都心のみどり
- ・市街地のみどり
- ・郊外のみどり
- ・都市公園のみどり
- ・多様な主体のみどり
- ・札幌らしいみどり

##### ○計画検討の視点

現状と課題の6つの項目ごとに計画検討の視点を設定

##### ○将来像(素案)

現状と課題の6つの項目ごとに将来像を設定

#### 審議会、部会意見を反映した構成案

##### 前提条件

##### 第1章 計画の目的と位置づけ

1. 計画策定の目的
2. 位置づけ
3. みどりづくりの経緯と評価
4. 札幌の価値を高めるみどりの意義

##### 第2章 札幌のみどりの現状と重視すべき視点

1. 札幌のみどりに関する現状
2. 重視すべき視点

##### 第3章 基本理念

##### 第4章 みどりの将来像

1. 将来像
2. 将来像図(予定)

##### 第5章 目標

1. 目標の設定

##### 第6章 取組の柱

- 施策の方向性
- 施策(イメージ)

##### 理念・将来像目標 実現方策

#### 審議会、部会の意見とポイント

- ・「何ができて、何ができていないのか札幌のみどりの現状を示す必要がある」との意見より、これまでのみどりづくりの経緯と評価の項目を追加。

- ・市民にとってわかりやすくする観点から、みどりが持つ普遍的な意義が、効果を発揮する3つの対象ごとに整理。
- ・「新たな価値を含めてみどりの総合的な意義にまとめるべき。」との意見より健康や観光など新たな文言を追加。

- ・「社会動向を踏まえた今後10年間で取り組む視点」を冒頭で打ち出してもよい」との意見より、重視すべき視点として整理

- ・「新たな価値を生み出すことより、みどりを大切にすることの方が先ではないか」との意見を反映し修正

- ・市民ワークショップの意見を踏まえて作成

## ■基本計画の構成(案)

### 前提条件

#### 第1章 計画の目的と位置づけ

##### 4. 札幌の価値を高めるみどりの意義(P7)

1. 計画策定の目的(P6)
2. 位置づけ(P6)
3. みどりづくりの経緯と評価(P6)

自然・環境  
①環境の保全

都市・まち  
②都市環境の形成  
③防災機能の発揮  
④観光まちづくり・地域経済への寄与

ひと  
⑤様々な世代が利用できる場の提供  
⑥コミュニティの形成

みどりが本来持つ普遍的な意義  
みどりの意義が効果を発揮する「自然・環境」「都市・まち」「ひと」の対象ごとに整理しています。  
3つの対象は、みどりの基本計画が働きかけていく対象でもあります。

#### 第2章 札幌のみどりを取り巻く現状と重視すべき視点

1. 札幌のみどりを取り巻く現状

【社会情勢の変化】  
・人口減少、少子高齢化  
・人口構造の地域的な偏り  
・環境問題の深刻化 など

【まちづくりの方向性】  
・まちづくり戦略ビジョン  
・都市計画マスタープラン  
・環境基本計画 など

【市民ニーズの多様化】  
・緑の審議会  
・市民アンケート  
・市民ワークショップ

2. 重視すべき視点(P8)

都市の魅力を高める

地域コミュニティの醸成

人と自然の共生

資源の有効活用

本計画の前提条件となる現状

札幌のみどりの現状を踏まえ、今後10年間で重視すべき視点を整理し、基本理念・将来像・取組の柱の考え方に生かしていきます。

### 理念・将来像・目標

#### 第3章 基本理念(P9)

札幌の魅力であるみどりを大切に、新たな価値を生み出し、みんなに愛され、世界が憧れる持続可能なまちを創っていく

実現しようみんなの手で  
人とみどりが輝くさっぽろ

前回審議会の案に青字箇所を追加しました。

#### 第4章 みどりの将来像(P9)

1. 将来像
2. 将来像図(作成中)

自然・環境  
人と自然が共生したみどりのある持続可能な環境が引き継がれています

都市・まち  
まちの価値を高めるみどりがあふれています

ひと  
みどりを活かし、心豊かにつながる暮らしが息づいています

意義の効果がすべて発揮された将来の札幌の姿を3つの対象ごとに描いています。

#### 第5章 目標

1. 目標の設定(作成中)

#### 第6章 取組の柱(P10-12)

① 自然・環境  
多様な自然環境を支えるみどり

② 都市・まち  
魅力的な都市環境をつくるみどり

③ ひと  
豊かな暮らしと地域コミュニティをはぐくむみどり

3つのみどりの将来像を実現するための取組の方向性について整理しています。

#### 施策の方向性(イメージ)(P10-12)

○持続的な森林保全・活用  
○地球環境や生物多様性に配慮したみどりの保全  
○郊外のみどりの保全  
○資源の有効活用

○都心部のみどりの増加と価値の向上  
○都市景観を彩るみどりづくり  
○市街地のみどりの推進  
○地域に愛される公園づくり  
○災害に強いまちづくりに資する公園づくり  
○街路樹のメリハリある管理

○札幌の魅力を伝える公園づくり  
○ニーズに応じた公園機能の見直し  
○公園の利活用の推進  
○協働によるみどりづくりの仕組みの充実

#### 施策(イメージ)(P10-12)

・みどり資源の保全 ●  
・白旗山都市環境林の利活用 ●●  
・森づくり体験の実施 ●●●  
・生物多様性に配慮したみどりの保全 ●  
・観察会や学習会  
・その他……

・都心のみどりの緑化方針 ●●  
・公共施設の緑化の推進 ●●●  
・花と緑の都心ネットワーク ●●●  
・主要公園の利活用 ●●●  
・民有地緑化支援 ●●  
・街路樹等道路緑化事業 ●●  
・その他……

・公園の活性化に関する協議会の設置検討 ●●●  
・狭小公園の利活用検討 ●●●  
・公園造成 ●●●  
・ボランティア活動の推進と支援 ●●●  
・その他……

重視すべき視点を踏まえ、優先して取り組む施策に丸をつけています。

### 実現方策

第1章 計画の目的と位置づけ

- 1. 計画策定の目的
- 2. 位置づけ

第79回、80回審議会資料に記載済

3. みどりづくりの経緯と評価

これまで取り組んできた札幌市のみどりづくりの経緯と評価について「自然・環境」「都市・まち」「ひと」の面から整理します。

①「自然・環境」面からの経緯と評価

<札幌らしい自然環境や山並みの保全>

・市街地の拡大を抑制、美しい山並みを保全

市街地と奥山の間にある里山地域を風致地区などに指定し、開発指向の強い地域や自然環境の保全が必要な森林を都市環境林として取得保全してきた。その結果、市街地の拡大を抑制し、美しい山並みが保全されている。

公園緑地及び地域制緑地



・「緑の保全と創出に関する条例」にもとづく保全

平成13（2001）年策定の「緑の保全と創出に関する条例」に基づき、市域を5つのエリアに分類し、それぞれ緑化率を定め、開発の際に緑化を義務づける制度。国の法律改正に先駆けて制定し、この制度により山岳、里山、里地について開発による喪失が抑制され、みどりが保全されている。

緑保全創出地域の指定図



<市街地を取り巻くみどりの骨格とネットワークの形成>

戦後は、町村合併や冬季オリンピック札幌大会を契機に人口が増加し、郊外に住宅地が開発・拡大。このため1982(昭和57)年 策定の、市街地を緑の帯で包み込む「環状グリーンベルト構想」に基づき保全・整備を進めてきた。現在は特色のある大規模公園を含む環状グリーンベルトがほぼ完成し、河川や道路緑化でつなぐ骨格的なネットワークが形成されている。

環状グリーンベルトとネットワークの構成



特色豊かで、観光資源ともなるモエレ沼公園



創成川公園 コリドー（みどりの回廊）としてネットワークに寄与

②「都市・まち」の面からの経緯と評価

<市街地のみどりづくり>

札幌市の都市計画は、碁盤の目を基本とした街路づくりと、住区計画等に基づく計画的な公園の配置を進めるなど、全国でも極めて先進的なものであり、量的には一定の充足が図られている。しかし、近年人口増加にある既成市街地では、公園が不足している。

また、都市の拡大に伴う道路整備にあわせて街路樹を整備し、うるおいのある街並みが形成されている。



市街地の街区公園



四季の彩の変化が楽しめる街路樹

<都心のみどりの保全と創出>

明治期に大通公園や中島公園などの大規模な公園を整備し、現在も公園の再整備や創成川公園の新規整備など新たな魅力づくりに取り組むことで、市民の憩いの場や原風景となっている。

近年では、「さっぽろ都心みどりのまちづくり助成制度」の運用をし、民間開発によるみどり豊かなオープンスペースの創出を誘導している。

また、都市計画において、「都心における開発誘導方針」により、オープンスペースやみどりの創出に対する誘導の制度が整備され始めている。

民有地に対しては、「緑の保全と創出に関する条例」に基づき、開発の際に緑化を義務づけてきたが、1,000㎡以上が対象となるなど、小規模な都心の開発と連動していない。

また、都心部における理想的なみどりの姿などが共有されていない。

③「ひと」の面からの経緯と評価

<市民との協働によるみどりづくり>

「第3次札幌市みどりの基本計画」では、「つなぐ」をキーワードに、市民と行政、市民同士が連携する市民との協働を掲げた。公園ボランティア、森林ボランティア、タウンガーデナーの支援を行って進めてきた。その結果、団体や個人のボランティアの登録者数は増えている。



民間開発によるみどり豊かなオープンスペースの創出



「さっぽろ都心みどりのまちづくり助成制度」の事例。



森林ボランティア



タウンガーデナー

これまでは、経済成長や人口増加などを背景として、札幌を取り巻くみどりの保全と創出、良好な住環境形成のための量的なみどりの整備を進め、一定の成果をあげてきた。

これからは、守られてきたみどりを大切にしながら、みどりとオープンスペースが持つ様々な役割を最大限活用し、柔軟に使いこなしていくとともに、都心の魅力向上などにより、みどりの質を高めていく必要がある。

#### 4. 札幌の価値を高めるみどりの意義

みどりは、市民が生活していくうえで欠かすことのできない重要な役割を担っています。

良好な都市空間の形成や人と人とのつながり、それらによってもたらされる賑わいなど札幌の価値を高めるみどりの意義を、本計画を検討するうえで普遍的なものであると捉え、以下に整理します。

自然・環境

##### ①環境の保全

###### ・地球環境の保全

CO2の吸収・固定による地球温暖化防止や森林の涵養機能による水資源の保全などに役立ちます。

###### ・自然環境の保全

生物の生息・生育空間となり、生物多様性の保全に寄与します。

都市・まち

##### ②都市環境の形成

###### ・都市景観の形成

都心や住宅地において公園やオープンスペース、街路樹や並木などの樹木によって、五感を通してのいいや安らぎを得られる景観を形成します。

###### ・札幌らしい景観の形成

手稲山や藻岩山などの山並みや、豊平川などの川のある風景、北海道大学の並木や農場の風景、ハルニレなどの樹木のある街並みなど、札幌らしい景観を形成し、市民一人ひとりの原風景を形づくりします。

###### ・生活環境の形成

気温・湿度の調整、大気の浄化、日陰の提供や心身ともに快適な生活環境を形成します。

##### ③防災機能の発揮

みどりは、水源の涵養・土砂崩壊防止などの役割を果たしています。また、災害時においては、土砂災害防止、延焼の防止などの役割を果たすとともに、都市公園等は避難の場、救援活動の拠点となります。

平成30年の災害を受けて追加しました。

##### ④観光まちづくり・地域経済への寄与

###### ・観光まちづくりへの寄与

大通公園や中島公園など、特色がありまちのシンボルとなっている大きな公園は、まちのブランド化や観光まちづくりの促進に寄与します。

###### ・地域経済の活性化

大通公園をはじめとした主要な公園や自然歩道などが様々なイベントや憩いと賑わい創出の拠点となり、地域経済の活性化に寄与します。

ひと

##### ⑤様々な世代が利用できる場の提供

###### ・健康推進の場の提供

スポーツや健康づくりなどの場となり、健康な身体づくりや精神的な豊かさをもたらします。

###### ・自然とのふれあいの場の提供

人と自然とがふれあい憩える場を提供し、自然の恵みによるのいいや安らぎを享受することができます。

###### ・子育ての場の提供

子どもの遊び場や親子のふれあう場を提供します。

###### ・環境教育の場の提供

自然観察や自然学習など、自然にふれあいながら体験し学べる環境教育の場となります。

###### ・まちづくり活動の場の提供

花植え、清掃、みどりの手入れなど、気軽に参加できる身近なまちづくり活動の場となります。

##### ⑥コミュニティの形成

###### ・地域コミュニティの形成

公園やオープンスペースは様々な地域活動やイベントの場となり、地域交流や多世代交流の促進に寄与します。

###### ・まちへの愛着の形成

人々を取り巻く山や川などの自然環境や公園、オープンスペースなどがもたらす景観によって、歴史・風土など札幌らしさを感じることで、市民のまちに対する愛着を育みます。

3. 重視すべき視点

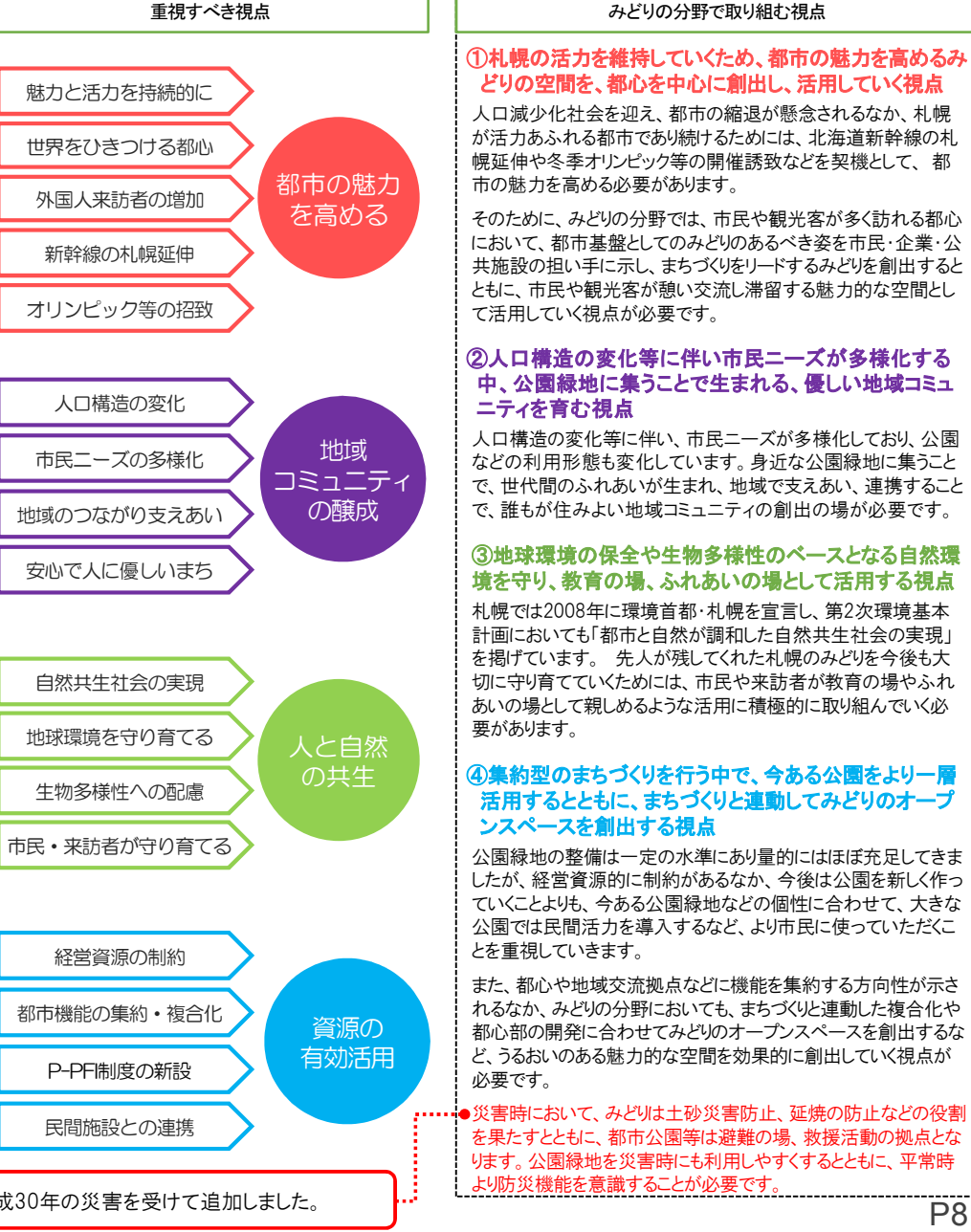
近年、札幌市においても、都市の成熟期を迎え、人口減少や少子高齢化の進行に伴う税収減や社会保障関係費の増大、市民自治の担い手の減少などが懸念されるとともに、市民ニーズの多様化や精神的豊かさへの希求が見られます。また、北海道新幹線の札幌延伸や冬季オリンピック等の開催誘致などを契機に街並みの変化が予想されます。札幌のみどりの分野では、都心のみどりの充実や市民ニーズに対応した公園づくり、多様な主体と連携したみどりづくりなどが求められています。

限られた経営資源の中で効果的に事業を展開していくために、札幌のみどりを取り巻く現状を踏まえて、今後10年間にわたりみどりの分野で取り組む視点を整理し、実効性の高い計画とします。

札幌のみどりを取り巻く現状



重視すべき視点



第3章 基本理念

札幌のみどりににおいて大切な理念を以下のように掲げます。  
これまで守り育ててきたみどりを継続して大切に引き継ぎ、さらに、その価値を高めるよう積極的に活用するといった新たな視点を加え、より魅力的な札幌を創造し、未来につなげていくことを表現しています。

札幌の魅力であるみどりを大切にし、新たな価値を生み出し、  
みんなに愛され世界が憧れる持続可能なまちを創っていく

実現しようみんなの手で  
人とみどりが輝くさっぽろ

「新たな価値を生み出すことよりも、みどりを大切にすることの方が先ではないか」という意見を反映し、修正しました。

「世界が憧れるは基本理念に盛り込んだほうがよい」という意見を反映し、修正しました

第4章 みどりの将来像

1. 将来像

札幌の価値を高めるみどりの意義、札幌のみどりを取り巻く現状、基本理念(案)をふまえ、本計画で目指す「札幌のみどりの将来像(案)」を以下のように設定します。  
「自然・環境」「都市・まち」「ひと」の3つの視点は密接に関係しており、各将来像の実現に向けて取り組むことで、相乗的効果が高まります。  
3つの将来像の実現に向けた取組により、様々なみどりがあふれるまちで、多様な生き物と共生し、四季の変化を楽しむ人々の暮らしが札幌らしい魅力を形づくり、札幌での生活を市民が誇りに思い、来訪者にとっても魅力あるライフスタイルが国内外に発信されることで、世界が憧れるまちへと成長していきます。

自然・環境

人と自然が共生したみどりのある持続可能な環境が引き継がれています

- ◆みどりがもつ二酸化炭素の吸収源や水源涵養などの役割によって、地球環境の保全につながっています。
- ◆多様な生物の生育空間となるみどりのネットワークが形成され、人と自然が共生したみどりのある環境が後世に引き継がれています。

平成30年の災害を受けて追加しました。

都市・まち

まちの価値を高めるみどりがあふれています

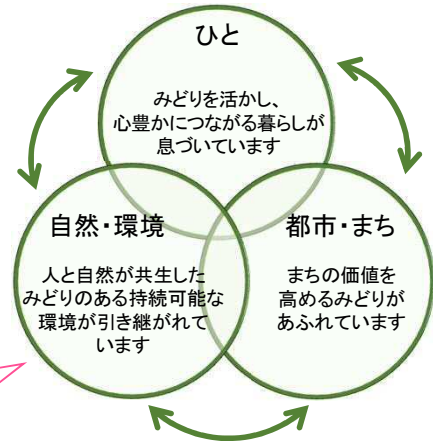
- ◆山並みや河川、公園など様々なみどりによって、ゆとりと安らぎ、季節の変化を感じられる札幌らしい景観が、市民一人ひとりの原風景を形成しています。
- ◆みどりの持つ災害の緩和・防止、避難の場や救援活動の拠点などの防災機能が発揮され、都市の安全性が確保されています。
- ◆身近なみどりの大気の浄化や日陰の提供などによって、快適な都市環境が形成されています。
- ◆札幌を象徴する公園や自然などのみどりが、憩いやにぎわいの交流拠点として積極的に活用され、活力ある魅力的なまちとなっています。

市民ワークショップでいただいた意見を取り入れています。  
(緑文字下線部分のキーワード)

ひと

みどりを活かし、心豊かにつながる暮らしが息づいています

- ◆みどり豊かなオープンスペースは、多世代の市民が憩い集い、遊びや学び、交流の場として活用され、地域コミュニティが育まれています。
- ◆札幌らしいみどりが、人々の日々の身近な暮らしに溶け込み、まちへの愛着を育み、心身ともに健康で魅力的な暮らしが息づいています。



3つの将来像の関係イメージ

第5章 目標

1. 目標の設定

第3回基本計画部会で検討予定

単独で成り立つものではなく、3つの将来像が密接に関係することで実現するもの(市民ワークショップ考察より)

